



自然を愛で山に入る...ハミングロード (第121回)

金剛山(冬) 関西2百名山 (こんどうさん) 標高1,125m大府府/奈良県



9:10 登山口駐車場 9:30~11:00 山頂(昼食) 12:00~12:40 伏見峠 12:40~13:30 ロープウェイバス停前~14:00 登山口駐車場

**雪と霧氷を目当てに金剛山へ**

1月の大雪の後、雪を目当てに金剛山へ登ることに。地元の中学校では、耐寒登山として親しまれている金剛山。昼から晴れるという天気予報を信じて金剛山へと向かう。

南へ進むにつれて空も晴れ、好天が期待できる。駐車場に到着するも半数以上が埋まっていて、身支度を整える20分のうちにもう満車。やはり大変な人気。

さあ出発。登り始めは薄い雪程度、10分、20分と登るにつれ徐々に雪も深くなり、所々でアイスバーンになっているところも。やや歩きにくくなってきたのでアイゼン装着。夏の千早本道は階段が多くて辟易するが、冬は雪で階段が隠れ、傾斜のある登山道になってとても歩きやすい。登山口から90分で山頂。11時というのに既に大勢の人人人。少し早い昼食と休憩。大阪平野と真っ青な空をバックに、木々の霧氷も映える。日の当たっているところは寒くなく、まさしく登山日和。記念写真を撮り、葛木神社へお詣りする。そして下山。日本は古来より八百万の神々の国なので、自然の恵みと登山のお礼をして下山。

帰りはタイトレの一部となる「ちはや園地」という子どもたちの遊園地横を通り伏見峠へ。そこからロープウェイ前バス停へ下り、駐車場へと戻る周回コースをとる。

HYOGO BOUHAN NET ★★★★★

**安全**

**露出事件の目撃情報**

■1月5日(金) 午前5時30分頃、神戸市北区藤原台北町1丁目2番付近の路上で。

徒歩で通行中の成人女性に対して、男が下半身を露出したもの。犯人は40~50歳位、160cm位、中肉、黒色ジャンパー、黒色長ズボン、黒色ニット帽、黒色ネックウォーマーを着用した男。

■1月5日(金) 午前6時32分頃、神戸市北区京地1丁目所在の足谷公園南側付近の路上で。

徒歩で通行中の成人女性に対して、男が下半身を露出したもの。犯人は40~50歳位、160cm位、ヤセ型、黒っぽい色のニット帽、黒色フリース上衣、紺色ジーンズを着用した男。



**不審者の目撃情報**

■1月10日(水) 午後5時50分頃、三田市下深田746番地付近の路上で。

徒歩で通行中の女子中学生2名が、過去にもつきまとわれたことのある男から、立ち止まると執拗に凝視され、怖くなった女子中学生がその場を立ち去り。

不審者は40歳位、170cm位、茶色っぽいダウン、眼鏡、マスクを着用した男。

■1月24日(水) 午後7時30分頃、神戸市北区花山東町4番付近の歩道橋上で。

徒歩で通行中の女子中学生がトンネル内で目が合った男に走って追いかける、女子中学生が逃げたところ、不審者は30~40歳、黒色短髪、黒色長袖上衣、長ズボンを着用した男。



**特殊詐欺の電話に注意**

■県内において、不審電話が連続して発生しています。個人宅に電話をかけ「被災地に送りたいのでお皿を買って欲しい」「家行かして欲しい」「女親で話したい」などと言ったものです。

**防犯ポイント**

- 不審な電話や訪問等があれば、1人で判断せず、「ご家族や警察に相談してください。」
- 相手が訪問した際は、身分証の提示を求めてください。
- 安易に自宅にあげることなく、不審に感じればすぐに110番通報してください。
- 固定電話を常時留守番電話に設定にし、不審な電話は出ないようにしましょう!

**犯罪情報などは最寄りの警察署へ**

三田警察署 ☎079-563-0110  
有馬警察署 ☎078-981-0110  
西宮警察署 ☎079-833-0110

**没後50年 福田平八郎**

開催期間: 2024年3月9日(土) - 5月6日(月・休)

前期: 3月9日(土) - 4月7日(日)

後期: 4月9日(火) - 5月6日(月・休)

大分市に生まれた福田平八郎(1892-1974)は、18歳のとき京都に出て絵を学びました。自然を隅から隅まで観察した写実的な作品で評価を得たのち、昭和7年(1932)に《漣》(重要文化財、大阪中之島美術館蔵)を発表し、その大胆な挑戦で人々を驚倒させました。その後も《竹》(京都国立近代美術館蔵)や《雨》(東京国立近代美術館蔵)など、色や形、視点や構成に趣向を凝らした作品を制作し「写実に基づく装飾画」という新しい時代の芸術を確立しました。

大阪の美術館では初、関西でも17年ぶりの回顧展となる本展は、代表作や所蔵館以外では初公開となる《雲》(大分県立美術館蔵)など、初期から晩年までの優品約120件を展示しその魅力に迫ります。また「写生狂」を自称した画家の瑞々しい感動やユニークな視線を伝えるスケッチ類も紹介して名作誕生の背景を探ります。

見るものに今も新鮮な驚きを与え、自然美への共感を誘う平八郎の明るい世界にどうぞご期待ください。

**Fukuda Heihachiro: A Retrospective**  
2024.3/9 sat - 5/6 mon

モダン・カラフル・チャイニング、自然を写す、鮮やかに切り取る、日本の風景、静謐の風景。

福田平八郎 《遊船》 昭和40年(1965) 大分県立美術館 (展示期間未定)

福田平八郎 《朝顔》 大正15年(1926) 大分県立美術館 (通期展示)

■会期: 2024年3月9日(土) - 5月6日(月・休) 【会期中、展示替えあり】  
前期: 3月9日(土) - 4月7日(日)  
後期: 4月9日(火) - 5月6日(月・休)

■開館時間: 10:00 ~ 18:00 (最終入場 17:30)

■休館日: 月曜休館 (4/1、4/15、4/22、4/29、5/6は開館)

■観覧料: 一般1,800円、高大生1,000円、中学生以下無料

大阪中之島美術館 4階展示室  
大阪市北区中之島4-3-1 TEL06-4301-7285 (大阪市総合コールセンター)